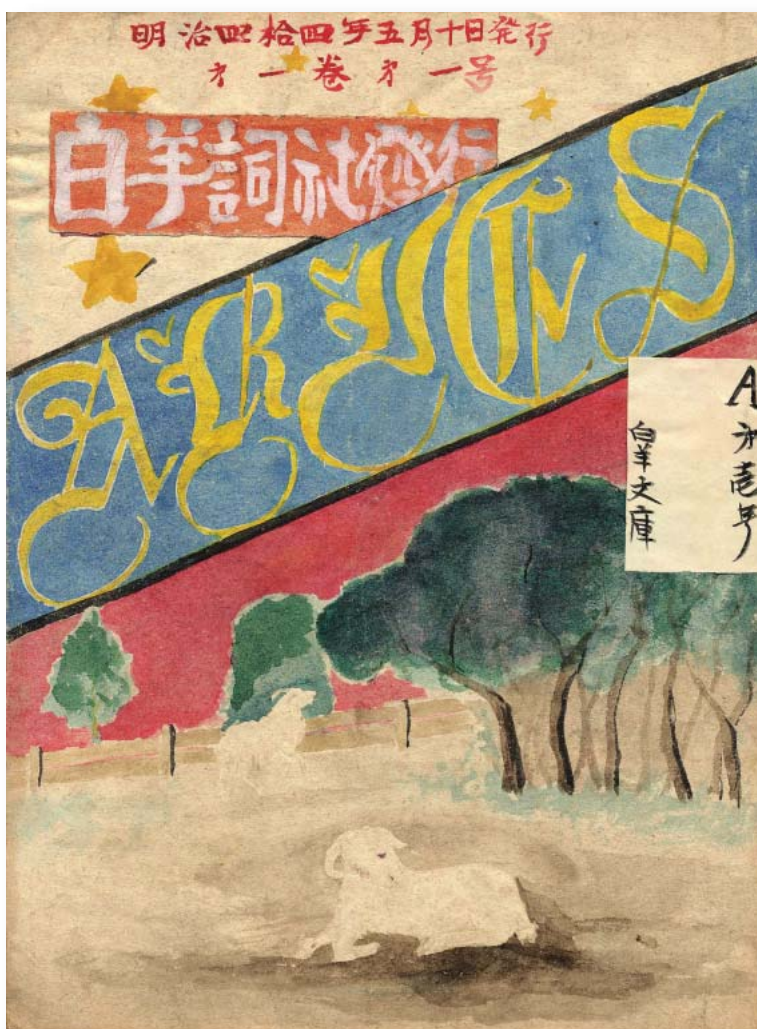


文書館だより

Fukui Prefectural Archives



▲『アリエス』第1巻第1号（1911年 吉川充雄家文書）

第5号目次

吉川充雄家文書紹介	2-3
「38豪雪対策」	4
活動報告	5
寄贈・寄託資料紹介	6-7
お知らせ	8

第5号

2005.3

福井県文書館

寄贈資料 吉川充雄家文書

吉川充雄家文書(C0037)は今年度当館へ寄贈していただいた古文書で、合計813点にもものぼる貴重な資料群です。

吉川家は代々紺屋又右衛門を称し、金津町(現あわら市)で紺屋を営み、町役を務めていました。当家の「勤中記録」によれば1798年(寛政10)以降長百姓、1857年(安政4)以降庄屋、73年(明治6)戸長を務めています。

金津新町は北金津町、南金津村とともに、北陸道が竹田川を渡るところに発達した宿場町で、高356石余の福井藩領でした。当家の1789年(寛政1)の「三金津等明細帳」には、家数85、人数310人で、百姓37人、毛抜屋9軒、鍛

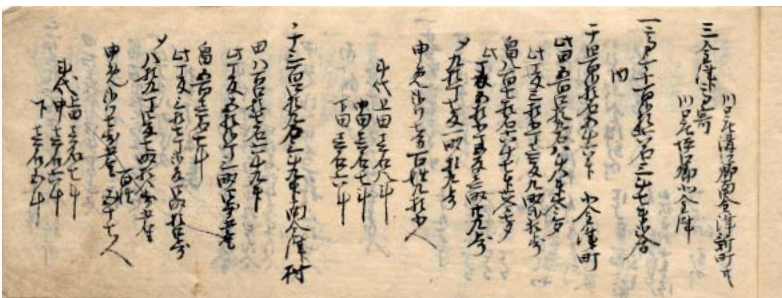
冶屋3軒、紺屋1軒と記載されており、毛抜・鉄の産地であったことがわかります。



▲吉川充雄家文書(充雄氏出生時に植えられた黒松製の箱4箱に収められていた)

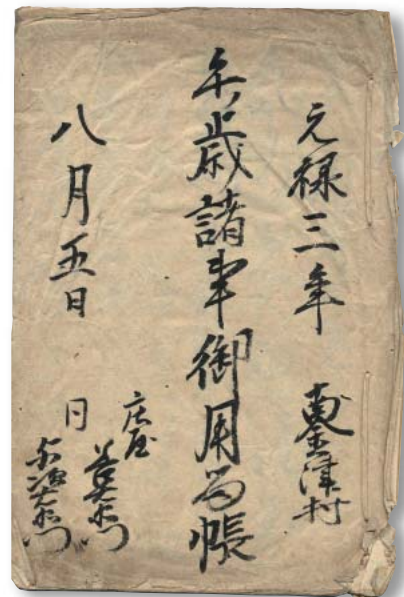
① 町方文書・紺屋仲間文書

町方文書としては、庄屋御用留や条目写、制札写などがあります。1689年(元禄3)の「午ノ歳諸事御用留帳」など用留類が豊富で「三金津等明細帳」とともに、当時の町全体の様子をうかがうことができます。



▲「三金津等明細帳」(1789年 6.5×16.5cm)

また、紺屋関係の文書については、その大半が1822年(文政5)の福井藩が行った藍玉の専売仕法に関連するもので、不良品の値引きと1年後の代銀支払が認められなくなったことについての願書類ですが、その中には金津だけでなく、森田や福井城下の紺屋仲間の願書案も含まれているなど興味深い内容となっています。また、新規に紺屋を開業する者を許可しないよう紺屋仲間から金津奉行に願い出た文書も複数あります。



▲「午ノ歳諸事御用留帳」(1689年 24×15.5cm)

Cover Photo Story

表紙写真：『アリエス』第1巻第1号
(1911年 吉川充雄家文書)



記念すべき『アリエス』第1巻第1号の表紙です。『アリエス』の象徴である白羊の絵が印象的です。

② 私文書

『論語』や『日本略史』などの書籍類も豊富で、吉川家の教養の高さをうかがうことができます。また、『新公論』や『詩苑』などの明治期の小説や俳句などの雑誌類も多く、1906年(明治39)の『芸苑』11月号の目次には、島崎藤村の名と並んで「吉川鷗村」の名が見え、文学に精通していたことがわかります。

1911年(明治44)、金津町では吉川翡翠氏を中心に「白

羊詞社」を結成し、10数名が会員として在籍、会報『アリエス』を月1回発行して、会員で回覧していました。表紙はどれもきれいで、その中には会員からの絵画、論文、随想、小説などの作品がおさめられています。また、会員による作品批評や研修旅行などの報告もあり興味深い内容になっています。寄贈資料の中には11年(明治44)から16年(大正5)までの27冊を確認することができます。

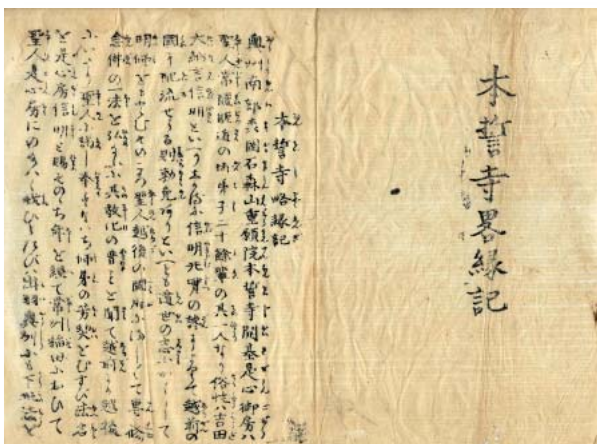


▲『ありえす』第1巻第2号(1911年)より

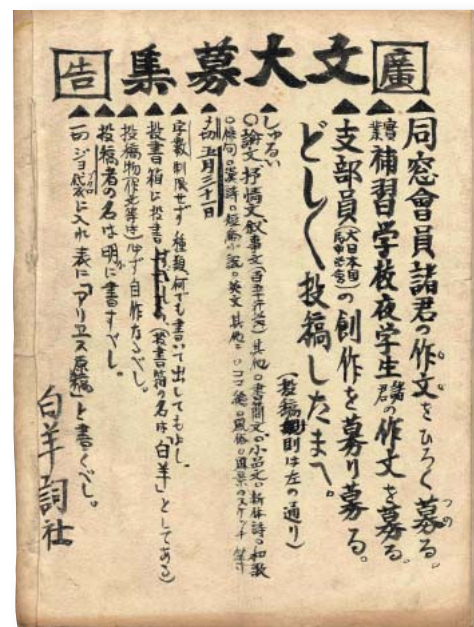


▲『白羊』第1号(年未詳)より

さらに興味深い資料として二十四輩寺院巡拝に関連する資料があります。二十四輩寺院巡拝とは主に関東における親鸞の24人の高弟の遺跡寺院をめぐる巡拝のことで、古くから盛んに行われているようです。吉川家には本誓寺など巡った寺院の由緒書や目録などが数点残されています。文書とともに記念として持ち帰った各寺ゆかりの木実や枝などが24種残されており、実際に巡拝を行っていたことがわかります。



▲二十四輩寺院の1つ本誓寺の略縁記



▲『アリエス』第1巻第1号裏表紙

◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆

さんぼち
「38豪雪対策」

4218 総務部財政課 1963年

時に、我々の命・財産を奪う自然災害。昨年の福井豪雨は記憶に新しいところですが、福井県にもたらされた自然災害のひとつ『38豪雪』に焦点をあて、公文書に残された記録をたどって当時を振り返ります。

1962年(昭和37)12月31日より降り出した雪は嶺北地方



▲当時の様子(福井駅)

を集中的に襲い、積雪は平野部において200cmを超え、山間部においては500cmに達し、27年以來36年ぶりの豪雪となりました。交通機関

はマヒし、国鉄(現JR)、私鉄はもちろん、国道をはじめとする道路も途絶し、沿線には運行不能に陥った列車・自動車等が長蛇の列を作っていたようです。

また、なだれ等による被害が続出し、死者31人、重傷者16人を出し、家屋、学校講堂等の倒壊は549件に及びました。一方、各産業界においても生産休止・滞貨の増大により壊滅的な状況に陥り、加えて生鮮魚菜、燃料、その他生活必需物資の急激な欠乏により物価の高騰をきたしました。公共施設においては膨大な除雪費の出費、道路橋梁の損壊等、県下の被害総額は173億円超にものぼりました。

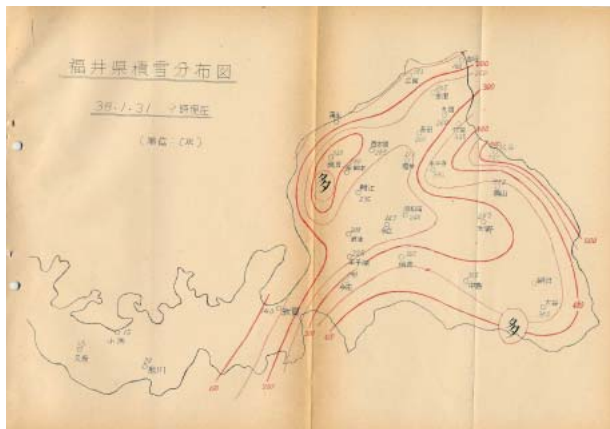


▲当時の様子(武生市)

県では雪害対策として、1月17日に災害対策基本法による雪害対策本部を設置。同31日には豪雪非常災害対策本部として拡充強化をはかり、除雪作業に傾注する一方、人家の被害が激甚な勝山市、足羽郡美山村、大野市(柿ヶ島、下若生子地区)、今立郡今立町(大滝地区)に対し災害救助法を発動するほか、必需物資の緊急輸送、自衛隊の出動要請など民生安定の諸施策を講じました。(2月6日付で川西町にも発動)また、同年2月に『融雪災害対策計画』を策定し、融雪災害における水防体制、避難計画等について協議しています。

この雪害に対し、広く県内外より見舞金・見舞品が寄せられており、市町村を通じて罹災者に配分された記録も残されています。

当時の苦悩と苦痛は、この歴史的公文書からだけでも容易にうかがい知ることができます。その後、県では除雪力の増強、消雪パイプの敷設など総合的な雪対策・災害対策に取り組むこととなりました。



▲[福井県積雪分布図 昭和38年1月31日現在](4218 38豪雪対

◆◆ 活動報告 ◆◆

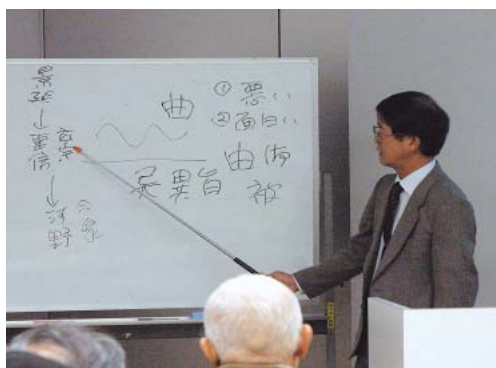
講演会

「江戸時代庶民の破産と再興」

開催日：平成17年2月6日(日) 開催時間：13:30～15:30
講師：宇佐美英機氏(滋賀大学教授、同経済学部附属史料館長)
場所：図書館多目的ホール

講演では、近世後期の貨幣経済の進展による「分散」(破産)について実例を示されながら詳細に語られました。そして、現代でも使用されている「出世払い」という言葉に関連して、「出世証文」「仕合証文」について説明されました。「出世証文」は上方で多く残されていることから、江戸時代においては、この慣習は近江商人との関係において成り立っていたと考えられるようです。

講演会には93名の方が参加し、興味深く熱心に聞いておられました。



県史講座 第1回

「芝原上水と福井城下」

開催日：平成17年1月30日(日) 開催時間：13:30～15:30
講師：松原信之氏(前丸岡町民図書館長)
参加者：61名

県史講座 第2回

「福井県の中世文書」

開催日：平成17年2月12日(土) 開催時間：13:30～15:30
講師：松浦義則氏(福井大学教育地域科学部教授)
参加者：41名

講習会

「リーフキャスティング講習会」

対象：県内資料保存利用機関、県内市町村文書管理担当、
県内市町村自治体史編さん担当職員
開催日：平成17年2月24日(木) 開催時間：13:00～16:00
講師：有友至氏(国立公文書館修復室長)、山本和佳子氏(修復係員)
参加者：41名

古文書 読解講座

「元禄期の大庄屋日記を読む」

開催日：平成16年11月7日(日)、11月14日(日)、11月21日(日)
開催時間：13:30～15:30
講師：文書館職員
参加者：44名

大庄屋日記を3回シリーズで読みました。今回は舟寄陣屋がなくなった元禄10年の日記を中心に3回続けてじっくり内容を読みました。

平成17年度も内容新たにさまざまな講座を開催いたします。前期の講座につきましてはP.8に紹介してあります。

皆さまの受講をお待ちしております。

全史料協福井大会が 開催されます！

今年是全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)の第31回大会が福井で開催されます。全国各地から多くの皆さまにお越しいただくようお待ちしております。

開催日：平成17年11月9日(水)
～11月11日(金)
会場：国際交流会館(福井市宝永3-1-1)
メインテーマ
「アーカイブズの新時代へ」(仮題)
日程：11月9日(水) 研修会
11月10日(木) 研究会、総会
11月11日(金) 視察

◆◆ 寄贈・寄託資料紹介 ◆◆

寄贈資料紹介

今年度も県内外の資料所蔵者の方々から貴重な歴史資料の寄贈を受けました。お礼を申し上げるとともに、前号に引き続き、ここでご紹介いたします。(2月末日現在)

山内秋郎家文書 (X0142)

寄贈された山内英司氏の父秋郎氏は、越前町(旧織田町)の劔神社の禰宜職にあった上坂津右衛門氏の六男として生まれ、横須賀市にある母方の山内家を継がれました。寄贈資料は、劔神社に関する文書の他、津右衛門氏の和歌集や秋郎氏の論文も含め873点です。新出の中世文書も含まれており、劔神社文書(D0021)や上坂一夫家文書(D0014)と共に、劔神社を知るうえで貴重な資料です。



▲「(朝倉廷景安堵状)」(1551年)

橋本伝右衛門家文書 (A0163)

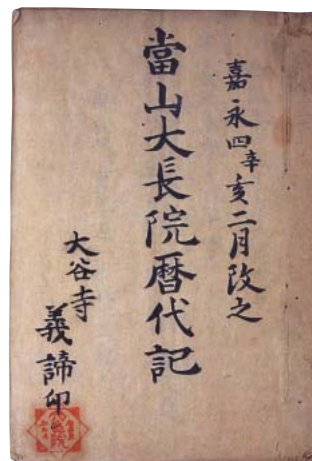
当家は神明村の庄屋や明治期の和田村神明区長を務めており、盛帳などの区長文書や陸軍省発行の「歩兵科手帳」、射的賞状などの近現代資料143点を寄贈されました。その中には、「最新鉄道路線図」(1942年 昭和17)や「日露戦争早見地図」(1904年 明治37)など10点の興味深い地図類が含まれています。



▲「(賞状 競点射撃第九等賞)」(1888年)

藤木庄作家文書 (D0074)

「当山大長院暦代記」(1851年 嘉永4)や「越知山大谷寺除地高并境内立木御改帳」(1868年 慶応4)など越知山大谷寺関係文書5点を寄贈されました。泰澄大師ゆかりの越知山大谷寺は越前において平泉寺とならぶ白山山岳修験の拠点で、近世には大長院など八房がありました。文書は『朝日町誌』にも掲載されており、越知神社文書(D0502)と共に、越知神社を知るうえで貴重な資料です。



▲「(当山大長院暦代記)」(1851年)

寄託資料紹介

片岡五郎兵衛家文書 (A0027)

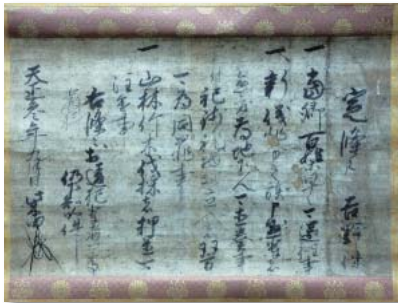
当家の先祖は朝倉氏の旧臣新開氏と伝えられており、同氏関係の中世文書6点を含む982点を寄託されました。また、江戸時代後期には合谷村をはじめとする37村の大庄屋を、明治期には合谷村村長や戸長を務めており、豊富な大庄屋文書や戸長文書を有しています。『福井県史』や『福井市史』にも掲載されている家です。



▲「(差上申口書証文一札之事)」(1826年)

土肥春夫家文書 (B0036)

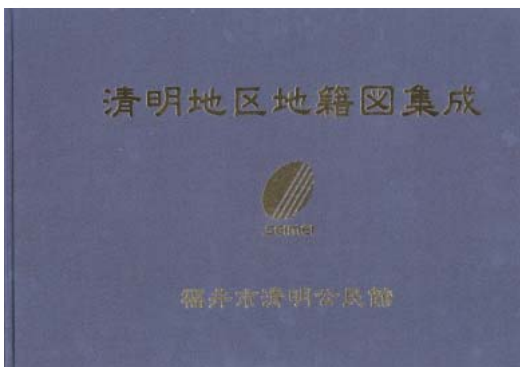
寄託資料は、松岡町元町長の土肥春夫氏が所有している「柴田勝家禁制」(1575年 天正3) 1点です。この文書は、勝家が吉野保に対して出したもので、同様の文書が徳丸一吉家文書(C0025)にも存在します。



▲「柴田勝家禁制」(1575年)

清明公民館文書 (A0162)

寄託資料は福井市清明公民館が所有している『清明地区地籍図集成』(2004年 平成16刊)1冊です。この資料は、清明地区の6町内に伝わる1876年(明治9)の「地籍図」を集約して、21.清明夢プラン実行委員会歴史部会が制作したものです。「地籍図」は統一的に保管されているものが少なく、この資料はととても貴重なものです。



▲「清明地区地籍図集成」(2004年)

浅田益作家文書 (C0121)

寄託資料は折戸村(坂井町)の川除普請に関する資料7点です。この資料は、益作氏が襖の下張りより発見し整理されたものです。氏は寄託資料以外にも杉田定一書簡なども所有されており、当館の複製本にて公開しています。



▲西春坂樋御普請出来形帳(1789年)

寄贈・寄託について

寄贈とは資料の所有が当館になることです。寄託とは、資料を一定期間文書館に預けていただき、管理を任せていただく制度です。寄贈・寄託された資料は、くん蒸して殺虫し、温湿度の管理された書庫内に保管します。そして、資料の目録を作成し、県民の利用に供します。歴史的な資料をお持ちの方で、保存管理に困っておられる方は当館にご相談ください。

新たに公開した古文書紹介！ (3月現在)

前号紹介後に新たに公開したものおよび近日中に公開できるものを、ここで一挙に紹介します。

(寄贈寄託文書は除く)

- | | | |
|-------------------------|----------------------|-----------------------|
| ● A0057加藤九左衛門家文書 追加 福井市 | ● E0002本保区有文書 武生市 | ● A0165松本勉家文書 福井市 |
| ● H0028橋詰権平家文書 河野村 | ● B0008花谷区有文書 永平寺町 | ● I0007横町区有文書 大野市 |
| ● B0011小林又兵衛家文書 永平寺町 | ● I0055土蔵昇家文書 大野市 | ● B0013山本八右衛門家文書 永平寺町 |
| ● J0026松井伝兵衛家文書 勝山市 | ● B0015竹沢篤家文書 永平寺町 | ● J0091本保御免状保存講文書 勝山市 |
| ● C0120五十嵐文由家文書 坂井町 | ● J0101玉崎伝右衛門家文書 勝山市 | ● C0121浅田益作家文書 坂井町 |
| ● J0116増田公輔家文書 勝山市 | ● C0122上坂昭彦家文書 坂井町 | ● X0551国立公文書館 追加 東京都 |

お知らせ

講座のご案内

■はじめての方に「古文書入門講座」

平成17年5月28日(土) 6月4日(土)
13:30～15:30 定員30名(要申込み)
会場：大会議室(5/28)・研修室(6/4)、
講師：文書館職員

■少し経験のある方に「古文書初級講座」

平成17年6月10日(金) 6月17日(金)
13:30～15:30 定員30名(要申込み)
会場：研修室
講師：文書館職員

■資料保存研修会「災害から資料を守る」

平成17年7月5日(火) 13:30～15:30
定員30名(要申込み) 会場：研修室
講師：尾立和則氏(京都造形芸術大学芸術学部教授)
資料を残すための災害時の対応や日常時の資料保存のあり方を考えます。
いずれも無料。問い合わせ・申込みは文書館まで

大阪万博スタンプ回顧展

開催日：平成17年3月25日(金)～
会場：文書館閲覧室 資料提供：上田茂登介氏

電子メールアドレスが変わりました
新しいメールアドレスは次のとおりです。
bunshokan@pref.fukui.lg.jp



文書館だより Fukui Prefectural Archives 第5号

平成17年3月31日発行
編集・発行／福井県文書館
〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891
ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>
電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp

ご利用案内

- 開館時間
午前9時から午後5時まで
- 休館日
月曜日(国民の祝日は除く)
国民の祝日の翌日(土、日、祝日は除く)
文書等点検期間(年間10日以内)
年末年始(12月28日～1月4日)
清掃整理日(12月以外の第4木曜日、祝日の場合は翌日)



フレンドリーバス(無料)のご案内

運行日：毎週月曜日、年末年始(12.28～1.4)を除く毎日
のりば：市内バス5番のりば
経路：福井駅前～福井駅東口～高志高校前～羽水高校前～
生活学習館～市美術館～県立図書館(県文書館)
(高志高校、羽水高校では、行きは乗車のみ、
帰りは降車のみ可能です。)
運行時間：平日8:30～19:00 土日祝8:30～18:00
運行間隔：30分間隔
(5番のりば、県立図書館ともに毎時00分、30分発)
使用車両：路線バスタイプのバス2両で、
1両は車椅子用電動リフト付きです。

編集後記

閲覧室内の展示が変わりました。今年度のテーマは「あらぶる・うるおす川」です。私たちは昔から川の脅威とたたかい、また川の恵みを受けて暮らしてきました。閲覧室には治水・利水に関する資料を展示してあります。ぜひ、ご来館ください。